

会場名	サブリーダー	
	役職	氏名
10階1001号	次年度地区クラブ奉仕・ 拡大増強委員長	藤井 眞澄
	地区研修委員	川上 善司
リーダー 役職・氏名	次年度広報委員長	梅原 一樹
パストガバナー 横山 守雄		
議事録作成者	担当SAA 高橋 司	

開会：(15時 30 分)
発表者：横山守雄パストガバナー
<p>【記録内容】</p> <p>「開会挨拶ならびに当部門の総体的なクラブ活動目標と取り組みについて」</p> <p>部門に関する次年度方針と研修項目のうち、会員増強については藤井サブリーダーが、会員維持については川上サブリーダーが、公共イメージとイメージの向上について梅原サブリーダーが、それぞれ説明する。</p> <p>会員基盤の強化（増強・維持）について、片山Gエレクトの目標は各クラブ純増2名。簡単な数字ではない。クラブ戦力絵企画委員会は、片山Gエレクトも承継し、単年度ではなく中長期的な立案をする。諸条件の分析検討が必要である。</p> <p>2016規定審議会では柔軟性が導入されている。若年層、奉仕活動に熱心な退職者、女性を迎え入れることが会員増強の強力な選択肢となる。</p> <p>各クラブの活動は一般にはほとんど広報されていない。報道とのコンタクトの手段がない。地区広報委員会がクラブに代わって報道機関と取材折衝を行う。</p> <p>「My Rotary」をクラブ活動にフル活動する。クラブ会員の登録者数50%以上を目指す。全部のクラブが、「Rotary Club Central」に入力することで、活動が知られる。</p> <p>7月15日に「広報・公共イメージ向上セミナー」を開催予定である。</p>
発表者：藤井眞澄 次年度地区クラブ奉仕・拡大増強委員長 (15時45分)
<p>【記録内容】</p> <p>「会員増強・維持について」</p> <p>先進諸国で会員数が減る一方、インド・韓国・ドイツ・台湾島で増えており、全体では120万人が維持されている。</p> <p>日本はインドに抜かれ世界3位となった。13万人をピークに会員が減り、現在は9万人である。2660地区も同様で、日本全体より少し下落率大きい。時代の変化、ゆとり（時間、経済的、気持ち）の減少、ITによる働き方の変化、団塊世代の退職、女性の社会進出などがあり、大会社が人を引き上げた。メンバーは高齢化している。会員増強の必要性はどのような組織も同様である。時代が変わればそれに応じた活動が必要である。ではどうするか。</p> <p>1つは、魅力あるクラブを作る。研修の充実が有用である。そのうえで、PRをする。例えば高</p>

崎RC（群馬県）は、会員の顧客へのPRのためにポスターを作成し、それぞれの会員が事業所などに貼って成果をあげている。会員増強のポイントは、候補者のデータベース、候補者への勧誘、入会後のケア、退会防止である。

2つ目は、柔軟ルールの活用である。例会の頻度を減らす、正会員以外の多様な会員を作る、衛星会員を作るなどである。大阪水都RC、甲斐の郷RCなどの例がある。

3つ目として、女性会員の入会である。

中長期計画により継続性を確保する必要がある。

発表者：川上善治 地区研修委員

(16時05分)

【記録内容】

「会員維持のための会員研修活動」

会員維持のための平野RCの活動を紹介する。活動の結果、3年間で新入会員は17名に対し、退会者はゼロである。クラブ全員で研修をした成果である。

新入会員研修は、一人前のロータリアンとしての早期成長を目標とし、座学中心。集権会員研修は、ロータリアンとしての早期成長が目標であり、OJT。ベテラン会員研修の目標は、ロータリアンの鏡となることであり、OJTの推進を行う。

地域に浸透するため、様々な社会活動、親睦活動、同好会活動を行っている。

発表者：梅原一樹 次年度地区広報・公共イメージ向上委員長

(16時25分)

【内容】

「広報・公共イメージ向上について」

委員会名称を広報委員会から変更した。一般社会でのイメージの向上と知名度のアップを図る。

①社会の変化への対応。ITの進化とグローバル化である。マイロータリーへの登録を促進し、登録率50%を目指す。

②ROTARYを理解する。最新の情報の取得と共有により、活動のヒントを得る。

③効果的な広報活動によって露出を強化する。名称とロゴ、シンボルにより露出を図る。

発表者：

(16時45分)

【内容】

「質疑応答」

- ・高崎RCのポスターの話是直接聞けるか。多様な活動はどう調べたらよいか。(大阪西南)
→調べたうえで6月の会員増強セミナー等で報告する。他の増強例は調べて報告する(藤井)。
- ・クラブセントラルは、継続性からすると、入力者を固定すべきではないか(吹田西)
→入力者は6名に限られている。1名を決めたほうがよい。事務局がよいだろう(梅原)。
- ・活動が報道された例は、クラブが単独にしたのか、地区がしたのか(八尾中央)
→同倶楽部の委員が地区の委員でもあった例。地区から頼む方法もある(梅原)。

発表者：横山守雄 パストガバナー

(16時55分)

【内容】

よく準備された報告に基づき、熱心に議論がされたことに感謝する。